



令和7年度 さいたま市立土呂中学校 学校だより

見沼のほとり

第 7 号
令和7年10月31日

学校教育目標 主体的に生きる人間の育成 《意欲・健康・豊かな心》

スポーツの秋を感じながら

校 長 金子 慎一郎

今年の秋はどこに行ってしまったのでしょうか。昨年も10月なのに夏日が続き、秋らしい気温にならない日がありました。それでも学校行事では、新人体育大会、市駅伝大会、合唱コンクールが開催され、素晴らしい結果をもたらしてくれました。新人体育大会では、先輩からの思いを託され、新部長を中心に頑張りました。今年はサッカー部とソフトボール部が合同チームで大会に参加し活躍してくれました。サッカー部は昨年度に引き続き泰平中学校と合同チームを作り与野南中学校と対戦しました。残念ながら敗退してしまいましたが監督からは「この経験を忘れずに、日頃の練習に取り組み次の大会に向けて頑張ろう」とアドバイスがありました。またソフトボール部は、岩槻中学校、春里中学校の3校で合同チームを作り大会に参加をしました。土呂中ソフトボール部は1年生6人で活動しており、中学校に入学してからソフトボールを始め、夏休み中に猛練習をして新人体育大会に挑みました。結果は市内3位で県大会出場となり、10月25日に小雨が降る中、ソフトボール部はいち早く県大会が行われ、志木市立志木中学校と対戦しました。その試合には土呂中学校から3名の1年生が出場して頑張りましたが、残念ながら敗退してしまいました。しかし、1年生で県大会の雰囲気と試合の緊張感を味わうことができたことは貴重な体験だったと思います。その他の部活動でも、男子ソフトテニス部が団体戦でベスト4決めで春野中に敗れ、県大会出場をかけて植竹中と対戦して見事県大会出場を決めました。ソフトテニス部は学校総合体育大会であと一つというところで県大会出場を逃していたため、その時の悔しい思いを晴らすことができたと思います。また、男子バスケットボール部は宮前中学校と対戦して試合の残り時間が8秒まで勝っていたのですが、相手に3ポイントシュートを打たれ、それが決まってしまう逆転負けをするという、まるでドラマのワンシーンを見ているかのような試合もありました。運が無かった。最後に勝ち切る練習が必要だった。反省点は来年の学総で活かしましょう。それぞれの部活動で生徒の皆さんが頑張った姿は忘れることはできません。個人戦では、男子剣道、男子ソフトテニス、体操で県大会に出場します。学校の代表としてベストを尽くしてください。



21日には市駅伝大会が開催され、1年生から3年生までの選手で編成した駅伝チームは、日を追うごとに3年生を中心に仲間意識が高まり短い期間の中で素晴らしいチームワークを築いていきました。当日は快晴の空の下、1秒でも速く次走者へ襷を繋ごうと懸命に走る姿が印象的で、スタート前の緊張感や市内63校の選手が一齐にスタートする光景はさいたま市内の大きさを感じる瞬間でした。結果は、男子が19位、女子が16位と、男子は昨年度を上回る結果、女子は同じ順位の結果を出すことができました。残暑が厳しい中での練習の成果が発揮できてよかったと思います。

24日には合唱コンクールが開催され、11クラスの歌声を聞くことができました。講評をいただいた藤澤先生も、曲の理解ができていて細かな表現や響きのある歌声でハーモニーがしっかりできていたと高評価をいただきました。3年3組は学校代表として、小中合同音楽祭に出場します。